

日韓友情年2005

「進もう未来へ、一緒に世界へ」

日本と韓国は、二〇〇二年のワールドカップ・サッカー共同開催などにより、かつてないほど親近感を深めました。ここ福島からも週三便、韓国ソウル線が運行しています。また、日韓国交正常化四〇周年に当たる今年には、「日韓友情年2005」(公式HP <http://www.jkcf.or.jp/friendshi2005/japanese/>)とされました。

今回は更なる相互理解と友情を深めていただくため、当館が所蔵する韓国に関する主な資料を紹介します。

【人文科学系の資料から】

『韓国の美術・日本の美術』鄭于澤他著 昭和堂 二〇〇一

第一章は、「作品を比べてみよう」と題して、日韓それぞれに現存する「観音菩薩像」「阿修羅像」「金剛力士像」等を写真で見比べられる構成となっています。両国の芸術の類似点・相違点をビジュアルで捉えることができます。第二章の「キーワードで比べてみよう」と併せて読むことにより、より深い理解が得られます。「人文公開 702.21/C1」
『韓国の手仕事』田代俊一郎著 晩聲社 二〇〇三

著者の田代氏は新聞記者であり、ソウル支

局勤務時に三〇人の匠に取材をし、韓国の手芸の魅力を一冊の本にまとめました。写真を眺めるだけでも興味深い内容となっていますが、職人それぞれの人生や仕事に対する思いが述べられた文章にも味わいがあります。

「人文公開 750.22/T1」

『冬のソナタから考える 私たちと韓国のあいだ』山登義明他著 岩波書店 二〇〇四
NHKのプロデューサー山登氏が、ドラマ「冬のソナタ」の特別番組を制作する中で、いかに「冬のソナタ」が多くの人々の心を捉えていったかを目の当たりにし、自分自身その魅力に引き込まれていく、その様子が述べられています。後半は岩波ホール総支配人・高野氏と山登氏の対談が収められており、「冬のソナタ」だけでなく、韓国の映像文化(特に映画)が日本に浸透してきた過程を知ることができます。「人文公開 T8.81/D91」

『韓国がわかる。ハンゲルは楽しい!』金裕鴻著 PHP研究所 二〇〇三

韓国語の学習本はたくさん出版されていますが、この本は文法や発音についてだけでなく、韓国語の歴史や日本語との類似点・相違点、また、韓国の風習・文化や韓国人の気質についても触れており、読み物としても充分に面白い内容となっています。韓国語を勉強しつつ、韓国が身近に感じられるようになる一冊です。「人文公開 829.1/K21」

『コリアン・ミステリ 韓国推理小説傑作選』金聖鐘他著 祖田律男他訳 バベル・プレス 二〇〇五

現在韓国で活躍するミステリ作家の短篇を集めたものです。序文において、韓国では推

理小説の歴史が浅く、日本ほど作家層も読者層も厚くないと述べられていますが、日本のミステリファンも充分楽しめる内容です。

「人文公開 929.13/K1」

【社会科学系の資料から】

『韓国経済通史』李憲昶著 須川英徳他監訳 法政大学出版局 二〇〇三

古代から現在までの、韓国の経済構造の歩みについて、一貫した歴史発展の構図を提示した初の本格通史です。

初期農耕社会の成立から始まり、市場が形成される中世社会の基本構造、商人資本の成長による貨幣経済の発展、対外貿易の展開、そして、近代の産業化への経済的蓄積と続きます。近代においては、開港と自主的近代化の挫折、とくに植民地下の経済的動向を実証的に明らかにしてその実態と歴史的意義を検証しています。

「社会公開 302.21/K1」

『韓国政治のダイナミズム』韓培浩著 木宮正史他訳 法政大学出版局 二〇〇六

この半世紀間の韓国政治の変動を捉え直した一冊です。

軍事独裁政権の変転を、権威主義体制の制度化の失敗過程と位置づけ、日本語版刊行にあたっては、「文民政府の民主改革と水平的政権交代」の一章を加え、金泳三文民政府の樹立から金大中の「国民の政府」成立にまで言及し、民主化への変化を分析しています。

伝統的な行動科学主義から、マルクス主義の分析視角まで採り入れた幅広い視野におい

て、権威主義体制から民主主義体制への苦難の道を跡づけています。

【社会公開 302.21/241】

【自然科学系の資料から】

『承孝相・張永和Works:10x2』

承孝相他著 TOTO出版 100413

著者二人は欧米からの評価も高い、東アジアを代表する建築家です。韓国出身の承孝相（スン・ヒョサン）は、あえて建築作品に空

の空間を置くな²Urban Void(都市の空き)をテーマに設計を続けています。写真・設計図の他、エッセイや対談も掲載されており、彼独自の建築理念を本書で知ることが出来ます。（英文併記）【自然公開 520.87/21043】

『韓国の建築』 尹張燮著 中央公論美術出版 100111

本書は一九七三年刊『韓国建築史』の増補改訂版で、朝鮮半島の建築通史を知ることが出来る数少ない資料です。時代は原始から朝鮮王朝時代まで、様式も寺院・宮殿・住居など幅広く考察されています。有名な景福宮の説明もあり、旅行前に読めば専門家のような視点で見ることが出来るでしょう。ちなみに当館では『韓国建築史』の主要部分を日本語訳した資料（同書名）も所蔵しています。

【自然公開 522.1/14032】

『韓国料理 伝統の味・四季の味』 李信徳著 柴田書店 100111

韓国の伝統料理を素材から作法まで網羅し、本格的にチャレンジしたい方にお薦めです。写真がちよいと古めかしいのが、いかにも「料

理の教本」といった雰囲気を感じさせています。

【自然公開 596.22/R1】

『おいしさ新鮮！韓国のお菓子』 呉浩子著 文化出版局 100111

前書に比べて写真は一見カラフルでポップ。しかしじっくり材料を見てみると、胡麻やきな粉など「健康」「素朴」「伝統」といった言葉が浮かんでくるものばかりです。洋菓子とも和菓子とも言えない、独特の韓国甘味文化を味わってみてはいかがでしょう。

【自然公開 596.65/10371】

『アパレル業界・日中韓英 対訳ワードブック』 村尾康子編 東京堂出版 100111

業界以外の方でも活用できる単語集です。「一般商談用語」「出張関連用語」の章は、基本的な旅行会話にも便利です。また、他にも色やサイズなど、意外に身近な言葉が多く掲載されています。四力国語が並列表記されており、対応関係が見やすいのも特徴です。

【自然参考 899.2/251】

『絶え間なき交信の時代 ケイタイ文化の誕生』 ジェームズ・E・カツツ他編 富田

英典監訳 NTT出版 100116

携帯電話は、日本だけでなく世界中で様々な社会変化をもたらしました。本書では韓国・フィンランド・イタリア等の専門家がそれぞれの視点でケイタイ文化を考察しています。韓国に関する章では、縁故主義を初めとする伝統的人間関係が、携帯電話の普及に関わっていることを示唆しています。

【自然公開 694.6/10361】

（一般資料チーム）

図書館Q&A

なぜ複写がめんどつなの？

それは「著作権」を守っているからです。最近、音楽や映画などに関連して耳にされたことが多いかと思いますが、著作権とは作品（著作物）を作った人が持っている権利です。作品を作れば、子どもでもアマチュアでも関係なく著作権が発生します。創作した時点で自動的に発生するものなので届け出などはいりません。

この著作権は「著作権法」によって守られており、原則的に第三者が勝手に複写することはできませんが、公共図書館においては、第三条で認められています。この時、

- ・ 図書館所蔵の資料である
 - ・ 公表された著作物の一部分（場合によって全部）の複製物を一人につき一部提供する
 - ・ 非営利目的の利用である
 - ・ 利用者の私的な調査研究のためである
- の条件を満たす必要があります。

これに基づき、県立図書館では「複写申込書」に記入いただいています。二〇〇三年度は、七六四二件、八万三千八十一枚の利用がありました。ちなみに、当館にない資料の複写を他の図書館に依頼するサービスもありますので、ぜひご利用ください。

著作権は、その作品に表現されている著作者の人格と財産の権利を保護するものです。複写を希望される際は、申込書をよくお読みになり、ご理解とご協力をお願いします。

（逐次刊行資料チーム）